

屋根工事(鯨・大棟積み)

1月22日より、大棟の鯨取付け準備を行いました。

鯨が据わる前に、鯨取付け用プレートと雨漏り防止のため、ステンレス板で下地をつくります。
上方向に伸びている木材は、鯨を差し込む鯨束(しゃちづか)です。



1月24日に、富山県高岡市で約10ヶ月かけて製作された鯨が、鶴丸城の現場にやってきました。青銅鑄物製で、阿吽の一對になっています。

口を開けた阿形は420kg、口を閉じた吽形は360kgもの重さになります。

高さは1.8m 巾は1.35m 厚さは60cmになります。

日本最大級の大きさの鯨になるそうです。



この日の午後から報道陣に公開され、鹿児島県庁の楼門等建設推進室 寺原室長から、御楼門の鯨の特徴などについて説明がありました。



クレーンで吊り上げて、棟に納まるまで公開されました。



鯨が台風や地震で落ちないように、鯨束(しゃちづか)に差し込んでいきます。



尾っぽの部分を外し、鯨がたつかない様に、鯨束と鯨の隙間に楔(くさび)を打ち込んで固定します。

これで、しっかりと固定されました。



再度、尾っぽの部分を乗せ、ボルトで固定し無事納まりました。

ついでに、記念写真を撮りました。



鯨が納まると、大棟の熨斗瓦を積んでいきます。



熨斗瓦と鯨の隙間から、雨が入って来ないように、鯨の下に熨斗瓦を差し込む様に注意して、熨斗瓦を積んでいきます。



大棟が完成しました。



いよいよ完成間近です。2月中旬以降に、素屋根が解体されます。
御楼門の全景が見えてきますので、お楽しみに！！